

そろそろクリスマスですね。クリスマスツリーやイルミネーションなど、街はすっかりクリスマスモード。サンタさんを心待ちにしているお子さんも多いのではないのでしょうか？

さて、サンタクロースといえば、白ひげを蓄え、赤と白の服を着た割腹のよいおじさんというイメージがありますが、世界には様々な姿のサンタクロースがいるのをご存じですか？

まず、イギリス。イギリスのサンタは、日本で知られているサンタさんとそっくりな見た目をしていますが、一つだけ違うところが。赤ではなく緑色のローブを着ているそうです。

イタリアのサンタクロースはなんと、ベファーナという魔女！ほうきに乗ってプレゼントを持ってきてくれるのですが、悪い子へのプレゼントは炭なんだそうですよ。

最後はオーストラリア！オーストラリアの12月は真夏。サンタさんは分厚いローブではなくアロハシャツを着て、トナカイではなくサーフボードに乗ってやってくるそうです！？

クリスマスはご馳走やクリスマスケーキを食べるご家庭が多いと思います。食事の後は歯磨きを忘れずに！学生や受験生の皆さんは、冬休みに入りますね。長期のお休みで時間があるときに虫歯を治しておきましょう！よい年末をお過ごしください。



ながさき歯科医院からのお知らせ



年末年始休診のお知らせ
12月28日～1月4日まで
休診いたします。



ながさき歯科医院

電話 042-729-4182

訪問専用ダイヤル 0120-75-4182

診療科目 一般歯科、小児歯科、口腔外科、歯列矯正、審美歯科、インプラント、
予防歯科、訪問診療

お知らせ：4月より診療時間が下記のようにになりました。

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00 ～12:30	9:00 ～12:30	9:00 ～12:30	休診	9:00 ～12:30	9:00 ～12:30
午後	14:30 ～18:30	14:30 ～18:30	14:30 ～18:30	休診	14:30 ～18:30	14:30 ～16:30
休診日：日曜・祝日・木曜日						

なぜ、乳歯の虫歯は早く治療しないとイケないの？

★乳歯は虫歯になりやすく、進行が早く、気がつきにくい

歯の表面はエナメル質で覆われています。エナメル質は体の中で一番強い場所です。しかし、乳歯は永久歯に比べてエナメル質が薄く柔らかいので、虫歯になりやすく、虫歯の進行が早いのです。



乳歯の虫歯は、あまり痛みを感じません。子どもが痛みを訴える頃には、かなり進行していることが多く、虫歯が歯の神経にまで達していることがよくあります。また、見た目は小さくても、中で虫歯が広がっていることもあります。

★乳歯は抜け替わるのに、どうして治療しなくてはいけないの？

子どもの歯はいずれ永久歯に抜け替わるから、虫歯になっても治療しなくてもよいのでは？と思っているお父さんやお母さんはいませんか？ それは大きな間違いです！

お子さんの体の成長とともに、6歳くらいから順次、乳歯が永久歯に生え替わっていきます。永久歯は、乳歯が生えている場所を道しるべにして生えてきます。ところが、乳歯が虫歯になると歯並びが悪くなります。ガタガタな歯並びになってしまうと、永久歯もガタガタの歯並びになって歯列矯正治療が必要になることがあります。また、虫歯は感染症なので、せっかくの永久歯が虫歯になってしまう可能性が高くなるのです。



★子どもの虫歯を予防するための生活習慣

虫歯は予防が大切です。毎日の生活習慣から、虫歯予防の意識を高めましょう。また、虫歯は早期発見が重要です。少なくとも3～4ヶ月に一回は歯科検診を受けましょう。

虫歯を予防するための4つの生活習慣

1. 仕上げ磨きはしっかりと！

虫歯は歯と歯の間など、歯ブラシが届きにくいところに来ます。歯ブラシだけでなく、フロスやタフトブラシもうまく利用して汚れを落としましょう。

2. 虫歯の原因菌を口の中に入れない！

人の口内の環境は2～3歳までに決まり、この間に虫歯菌が定着しなければ虫歯にならないと言われています。虫歯は感染症です。大人が使用したスプーンやお箸や食器を共有しない、食べ移しをしない、キスをしないなど気をつけましょう。

3. おやつや甘い飲み物をあげすぎない

おやつやジュースをだらだらと食べていると、虫歯になりやすくなります。時間をきめて飲食させるほか、その後には歯を磨かせる、口をゆすがせるなど気をつけてあげましょう。

4. よく噛んで食べる習慣をつける

よく噛んで食べると、唾液がたくさん分泌され、虫歯菌が活発に活動しにくい状態になります。虫歯予防のためにはよく噛んで食べるのが大切です。



ながさき歯科医院

